

令和6年度「課題解決型デジタル活用プロジェクト推進事業」業務
KPI達成状況（令和7年度末時点）

令和7（2025）年度実証事業の進捗と評価

1 ICT化施設数

(1) 年度目標数値

7施設

(2) 進捗

達成 [実績：8施設（対前年度+3施設、目標数値+1施設）]

※ 令和8（2026）年3月末時点

（参考：令和7年度中にICT化した施設）

No	市町村	施設名	備考
1	和歌山市	和歌山生協病院 「くじらっこ」	令和7年9月新規開設
2	有田川町	病児保育室 「こぐまクラブ」	
3	新宮市	新宮市病児病後児保育施設 「あんしんルーム」	令和7年10月新規開設

(3) 要因

○「わかやま病児保育シンポジウム」開催による施設側の機運上昇

- ・シンポジウム開催により、和歌山県として、病児保育のICT化及び広域化の必要性等の講演、意見交換等を行った結果、施設側のICT化に対する機運が上昇し、ICT化に繋がった。

○新規開設施設に対する充実した支援

- ・令和7年度に2施設が新規開設されたが、新規開設前である令和6年度から既に和歌山県でICT化の取組が進んでいたこと、和歌山県が施設のICT化に対する補助事業を実施したことなどが要因となり、新規開設と同時にICT化することに繋がった。

2 施設利用率

(1) 年度目標数値

56%

(2) 達成状況

未達成 [実績：44.1% (対前年度▲0.7 ポイント、目標数値▲11.9 ポイント)]

※ 令和 8 (2026) 年 3 月末時点

(3) 要因

① ICT 未導入施設（2 施設）の低利用率

・ ICT 化未導入施設の利用率が低く（病児保育室「きらら」21.1%、串本町病児・病後児保育室「ぼけっと」2.6%）、全体の数値を押し下げた。

② 新規開設施設（2 施設）の低利用率

・ 新規開設直後は、利用者の認知が浸透していないことなどが要因し、利用率が低くなりやすい傾向があることから、令和 7 年度に新規開設した 2 施設の利用率が全体平均未満（和歌山生協病院「くじらっこ」42.5%、新宮市病児病後児保育施設「あんしんルーム」9.3%）となっており、全体の数値を押し下げた。

(4) 成果

○ ICT 導入施設の高利用率

・ 令和 6 年度末までに ICT 化している 5 施設の令和 7 年 11 月～令和 8 年 3 月期の利用率は 57.4%であり、前年同期比で 2.9 ポイント上昇（令和 6 年度 54.5%）。ICT 導入施設における高利用率は維持しており、ICT 導入が利用率の向上に一定の効果があると示唆している。今後、ICT 未導入施設への導入等により、さらなる利用率向上が期待される。

※ 病児保育室「ぴよんぴよん」は令和 7 年 11 月に定員を 6→9 名へ拡大した。拡大後（11～3 月）も 1 日平均 5.5 人が利用し、4 割超の日で旧定員 6 名を上回った（うち約 1 割の日は新定員 9 名に到達）。旧定員 6 名に対する充足率は約 9 割に相当し、利用率が見かけ上控えめなのは定員拡大による分母増の影響が大きい。ICT 導入施設の実需要は旺盛である。

3 KPI 達成状況

① ICT 化施設数

	2024 年度末	2025 年度末	2026 年度末
目標	4 施設	7 施設	7 施設
実績	5 施設	8 施設	

② 施設利用率

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
目標	50%	56%	58%
実績	44.8%	44.1%	

4 令和8(2026)年度以降の方向性

① ICT 未導入施設への導入促進

- ・オンライン予約による利便性向上は、特に共働き世帯等にとって利用促進の大きな要因となる。今後、予約システムの利便性や業務効率向上の実績を踏まえ、未導入施設への導入を促していく。
- ・また、併せて、操作マニュアル整備やフォローアップ体制強化により、円滑な運用を支援していく。

② 広報活動の戦略的展開

- ・令和7年度は、シンポジウムの開催、啓発動画及びリーフレットの作成を行い、広報素材の作成を行った。今後、市町村の子育て支援施策の紹介等を有効に活用し、効果的な広報活動を実施する。